

事業実施報告書

法人名	特定非営利活動法人奥武蔵ピースラボ
活動名	日高市、その周辺における里川、里山の保全活動
助成事業の種類	SDGs推進活動助成
	地球分野
事業の目的	
<p>里山においては、地権者さんの高齢化や都市化の進行によって進んでしまった荒廃を、これ以上進まないようにポリネーターである日本ミツバチや花蜂を保護し、森自体の保水力と活性化を目的としてシガラを作り、森の木々の根を痛めるクマ笹を除去し、ナラ枯れ対策を施す。さらには設置したトレイルカメラを駆使して野生動物の状況を観察する。</p> <p>里川では、日高市役所や同じエリアで活動する環境団体、個人と協力して、子供たちに高麗川の自然と接してもらうために、ガサガサ体験やリバーコーミング、ピストン釣りのワークショップを実施し、定期的の高麗川や日高市周辺の水路並びに湧水の水質の調査を実施することで、高麗川周辺の水環境を監視していく。</p>	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
<p>私共が活動する狭山丘陵並びにその周辺エリアでは、里山と谷津田が連なる自然豊かなエリアです。しかし、近年、地権者さんの高齢化や相続などに伴い、谷津田が休耕田となり里山の利用がなくなって藪となってしまいう状況が多く見られるようになりました。また、日高市内を流れる高麗川も、「遠足の聖地」と呼ばれるほど自然が豊かで、水量、水質共に共に子供たちが自然の川と触れ合う環境を保っています。私たちは、里山が本来の自然を保ち、昔からその場所で暮らしている野生動物や昆虫たちがその生態系を保って暮らしていける環境を守るように、また、河川においては、生態系に影響が少ない方法で環境調査を実施すると共に、流域の子供たちに自然と触れ合う機会を設け今後もこの自然と共に暮らしていけることを目的と致します。</p>	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・里山の活動として、森の保水力や活性を保つためのシガラを作り、水路の整備、ポリネーターとしての日本ミツバチや花蜂を保護する目的での巣箱の設置を実施し、設置してあるトレイルカメラを駆使して、里山に生息する野生動物の観察・調査を実施した。 ・里川の活動として、毎月第三日曜日に実施する高麗川でのガサガサによる水生生物の調査活動とリバーコーミングを実施し、子供たちを対象としたピストン釣りのワークショップの開催、マイクロプラスチック調査に伴う検体捕獲、日高市の小学生の夏休み企画であるひ・まわり探検隊でのガサガサ体験、高麗川での釣り体験、投網教室などを開催した。 ・購入した伝導率計などを駆使して、高麗川と支流、日高市内の湧水、上水道、下水処理後の排水などの水質検査を実施した。 	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第一日曜日を里山整備の日と設定し、コモンフォレストジャパンの坂田講師によるシガラづくりの応用編並びに里山の整備方法の指導、水路の石積みによる浄化と水生生物の隠れ家の設置、トレイルカメラの設置場所を再検討し、野生動物の生活の様子を観察と調査、日本ミツバチの巣箱設置による日本ミツバチの保護と巣箱の整備、保温作業、下草の処理、熊笹の処理などによる山野草の発見や保護活動を実施した。 ・毎月第三日曜日を高麗川の定点観測地点での水生生物観測日に設定、ガサガサによる水生生物調査を実施した。夏休みには、日高市生涯学習課と協同で、高麗川でのガサガサ体験を2回、花蜂保護を目的とする「蜂宿」作成体験を1回実施した。さらには、高麗川での魚釣り体験、投網教室、入間川、高麗川でのマイクロプラスチック調査体験を実施した。4月、7月、10月には、高麗川でのリバーコーミングとピストン釣り体験を実施した。 	

費用面での工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・里川での活動では、大人用のウェーダーやライフジャケットなど、釣り教室やマイクロプラスチック調査の検体捕獲での釣り道具などの装備、投網などの備品については、東京都で環境調査を実施するNPO法人R.I.Laに貸与を受けて費用の削減を試み、里山の作業でもシガラつくりに必要な杭なども、里山で採取できる間伐材を使用して使うなどの工夫を実施して、消耗品の費用削減を目論んだ。 ・ひ・まわり探検隊のガサガサ体験などは、小学生が対象のために、参加する子供たちと同数の見守りボランティアが必要となるが、埼玉女子大の学生さん、日高市や周辺の市町村のボランティアの方々の協力を得て、謝金などの出費をすることなく、二回の開催で、50名のボランティアの方々にご協力を得ることができた。
地域社会への還元
<ul style="list-style-type: none"> ・里山の整備では、里山内の生態系を適切に保つことにより、生息する哺乳類(アライグマ、ハクビシン、タヌキ、アナグマ、ネズミなど)達の生育環境が適切に保たれ、餌場の確保と豊富な食糧の確保が可能となり、周辺の田畑や農園を荒らすこともなく、害獣駆除として里山に暮らす動物たちが殺されてしまうこともない状態で、地域との共存ができています。 ・高麗川でのガサガサ体験や釣り体験、投網教室などを通じて、地域の子供たちに川で自然の中で遊ぶ楽しさと、川を守っていくことの大切さを実感してもらい、将来にわたって貴重な自然を守っていくきっかけづくりができた。 ・一年間を通じて、数多くのボランティアさんたちと出会い、ガサガサ、川での釣りや伝統漁法である投網などの楽しさと、川魚の食べ方などを伝えることができた。 ・日高市の小中学生や飯能市の自由の森学園の高校生たちと河川でのマイクロプラスチック汚染の状況を調査し、その状況を自らの目で確かめることによって、環境保護を考えるきっかけにして頂けたことと関している。
今後どのように事業を継続し発展させるか
<p>今後は、助成金で調達した備品や消耗品を有効に利用し、今まで継続してきた里山や里川での活動を継続していくと共に、日高市や周辺の市町村で活動する環境NPO法人や子供たちを対象とした支援を実施している団体、学校法人などを協力し、子供たちへの自然を体験する活動をより深耕させて行く所存である。</p>

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人奥武蔵ピースラボ

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	484,000	484,000	0	
自己資金	665	7,563	6,898	
活動実施による収入等	0	0	0	
その他	0	10,000	10,000	
収入の部 合計	484,665	501,563	16,898	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	60,000	66,938	6,938	
消耗品費	112,250	124,137	11,887	
備品費	93,390	93,390	0	
委託費	93,025	93,098	73	
謝金	90,000	90,000	0	
人件費	0	0	0	
その他	36,000	34,000	△ 2,000	
支出の部 合計	484,665	501,563	16,898	